学校番号	３０１３

令和５年度　工業科（建築設備系　設備システム専科）

教科	工業科	科目	建築法規	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	建築法規(実教出版)						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築基準法を中心に、関連するその他の法令や規定について理解・習得することにより、安全な建築物の設計や施工をするための意義と内容を理解していきましょう。また、法解釈の基礎的な能力を習得し、建築士などの資格の試験にも法律に関する問題が出るので、理解をしておきましょう。

2　学習の到達目標

建築関係法規に関する知識を習得させ，建築物の計画，設計，施工，管理などに活用する能力と態度を育てる。

建築法規が,建築物の安全や衛生を確保する必要性から多くの関係法規によって構成されていることを，具体的な事例を通して理解させるとともに，建築の計画，設計，施工，管理を行ううえで法令遵守のたいせつさを理解させ，技術者としての倫理観を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築物や都市生活の安全性,良好な都市環境を保つ観点などから,建築法規の必要性や諸問題などについて幅広く関心をもち,建築の計画や設計などの実践的な学習に役立てようとしている。	都市生活における安全や生活環境を取り巻く諸問題の解決をめざす建築法規のもつ役割について,自らの思考を深め,実際的な事例に対して適切に判断し,建築の計画や設計などに的確に表現できる。	建築の関連法規を包括的に学習し，建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身につけるとともに，建築物の設計や施工にかかわる，実際的な業務に必要となる建築法規に関する知識を活用できる。	建築の関連法規を包括的に学習し，建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身につけるとともに，建築法規のもつ意義や効果を理解している。
評価方法	観察（学習状況） 観察（取組状況） 課題評価 授業プリント 定期考査	観察（学習状況） 観察（取組状況） 課題評価 授業プリント 定期考査	観察（学習状況） 観察（取組状況） 課題評価 授業プリント 定期考査	観察（学習状況） 観察（取組状況） 課題評価 授業プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	建築法規のあらまし	○建築基準法の意義 ○法規の体系と建築基準法の構成 ○建築基準法の基本用語	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:「建築基準法」の意義や必要性などに関心をもち，実践的な学習に役立てようとしている。法規の体系と成り立ちに関心をもち実践的な学習に役立てようとしている。基本的な用語と法規上，定められる面積・高さ・階数などの算定基準の背景や諸問題に関心をもち，実際的な法規の学習に役立てようとしている。 b:「建築基準法」の必要性と効果などについて思考し，事例に応じて基準の適用を判断することができる。構成と規定の成り立ちから，性能や仕様に基づく具体的な規制方法などについて思考し，基準の適用を判断することができる。用語の定義や面積・高さ・階数等の算定基準の重要性について思考し，基準の適用を判断する能力を身につけ，建築の計画や設計に的確に表現できる。 c:「単体規定」と「集団規定」の意義と，その効果を理解し，事例に応じた設計に活用することができる。建築基準法の構成や条文を，実際的に理解するとともに，性能と仕様に基づく実際的な法の規制について理解し，設計に活用することができる。法規制を適用するうえで不可欠な基本用語の定義と面積算定基準を理解して，算定をすることができる。 d:「建築基準法」の包括的構成や規定の骨格をなす「性能」と「仕様」の概念を理解している。基本的な用語の定義や面積・高さ・階数の算定方法を理解している	学習状況 プリントの提出 確認テスト 定期考査の結果

2学期	個々の建築物にかかわる規定	○一般構造・建築設備についての規定 ○構造強度についての規定 ○防火と避難についての規定	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:居室の採光と換気，天井と床高に関する規定の背景や諸問題に関心をもち，学習に役立てようとしている。建築基準法と消防法の防火と避難に関する規定の背景や諸問題に関心をもち，建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。換気・屎尿浄化槽・昇降機・避雷設備の役割や設置基準などの建築設備の分野に幅広く関心をもち，意欲的に学習している b:居室の採光と換気，天井と床高に関する規定と建築計画や設計とのかかわりについて思考し，算定能力を身につけ，建築の計画や設計に的確に表現できる。建築物の構造や規模，または，高さと構造計画や計算方法のかかわりなどについて思考し，基準の適用を判断することができる。防火と避難に関する規定の背景や問題点などについて思考し，基準の適用を判断することができる。換気・屎尿浄化槽・昇降機・避雷設備の必要性や居住者の安全性などについて思考し，設置基準や構造基準を建築の計画や設計に的確に表現できる。 c:居室の採光と換気，天井と床高の規制に関する，算定能力を身につけ，建築の計画や設計に活用することができる。各構造種別の法規制のあらましを理解し，設計に活用することができる。防火と避難に関する安全対策を建築の計画や設計に的確に講ずる能力を身につけ，建築の計画や設計の学習に活用することができる。換気・屎尿浄化槽・昇降機・避雷設備などの役割や設置基準について理解し，設計に活用することができる。 d:居室の採光と換気，天井と床高に関する規定と算定方法を，理解している。建築物の構造や規模，または，高さに基づく構造計画や計算方法と各構造種別の法規制について，構造計算方法を理解している。建築基準法と消防法にかかわる防火や避難規定について，基準を理解している。換気・屎尿浄化槽・昇降機・避雷設備などの建築設備について，設置基準や構造基準について理解している。	学習状況 プリントの提出 確認テスト 定期考査の結果

3学期	各種の関係法規	○設計と工事の段階にかかわる法規 ○良好な建築を促進する法規	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:建築の企画や設計・工事に関連する都市計画法や建築基準法以外の関連法規について 幅広く関心をもち，実践的な学習に役立てようとしている。建築物の安全性や快適性を促進するバリアフリー法，耐震改修促進法，住宅品質確保促進法などの法規の目的や効果について関心をもち，建築の計画や設計の実践的な学習に役立てようとしている。 b:都市計画法や建築基準法以外の関連法規と建築の企画や設計・工事との実際的なかかわりについて思考し，事例に対して適切な判断能力を身につけ，建築の計画や設計などに的確に表現できる。バリアフリー法，耐震改修促進法，住宅品質確保促進法などの法規制と建築物の安全性や快適性とのかかわりについて思考し，実際的な事例に対して適切な判断能力を身につけ，建築の計画や設計などに的確に表現できる。 c:建築士法や建設業法など設計や施工の業務とかかわりの深い関連法規を理解して，建築の計画や設計の業務に関する学習に的確に活用することができる。バリアフリー法，耐震改修促進法，住宅品質確保促進法などの法規と建築物の安全性や快適性とのかかわりを理解して，建築の計画や設計に的確に活用することができる。 d:建築士法や建設業法など設計や施工の業務とかかわりの深い関連法規について，実際的な事例に応じて理解している。バリアフリー法，耐震改修促進法，住宅品質確保促進法などの目的や効果について，実際的な事例に応じて理解している。	学習状況 プリントの提出 確認テスト 定期考査の結果

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。